

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【6月定例会】

施政方針及び議案審議 …… 2～3

委員会審議

総務厚生常任委員会 …… 4

文教経済常任委員会 …… 5

一般質問 4人が登壇 …… 6～9

 池田町

VOL. 30

令和6年8月1日発行



池田サッカークラブは、低学年から高学年までみんなで楽しく練習に取り組んでいるサッカーチームです。現在28名の子どもたちが在籍しています。

基本的な運動スキルの向上はもちろん、チームワークやフェアプレーの精神を大切にし、仲間と一緒に喜びや悔しさ達成感を共有することで大きく成長します。

練習は週に2回行われ、初心者でも楽しくサッカーをすることができます。

町長施政方針及び諸事の報告



令和6年 6月定例会

池田町脱炭素先行地域採択に向けて

これまでの、バイオマス熱エネルギーの活用に、小水力発電、太陽光発電等の活用を加え各電力事業の官民共同事業化を計画していく。

再生可能エネルギー電力需要においてはモデル地区の設定を行いながら、再生可能エネルギーの活用や脱炭素事業に対する理解度と意識向上化へ向けて、関係する地域の理解促進活動を行っていく。

義務教育学校について

少子化、過疎化に伴う今後の、児童生徒の健全育成と、教育環境の整備を図るため、義務教育学校についての検討委員会を設置し、今後の可能性について多角的に検討を行う。

※義務教育学校とは、一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間(小学1年生から中学3年生まで)の系統性を確保した教育課程を編成、実施する学校のこと。

暑熱避難施設クーリングシェルターの指定と「涼んでってドア事業」について

危険な暑さにより、健康に重大な被害が生じる恐れがある場合、国が発表する熱中症特別警戒アラートを周知するとともに、空調設備が整った町内公共施設を暑熱避難施設クーリングシェルターとして指定を行い、開放することで熱中症対策とする。

またこの取り組みを、池田町の一層の魅力向上につなげる事業として、町内の事業所や店舗、観光関係事業者などと連携し、店舗や事業所の屋内や軒先を活用した涼みの場の提供を図る「涼んでってドア事業」に取り組む。

「未来へ耕す池田米プロジェクト」について

池田米の確実なブランド化への展開について、これまでの「生命にやさしい米づくり」の認定基準、奨励金制度、技術の高位平準化などの見直しへの提案について、これまで検討を重ねてきたものを「未来へ耕す池田米プロジェクト」と題し、6月の総合農政推進協議会通常総会にて推進の賛同を得た。

新基準での生産認定は令和7年度からとし、今年度においては農業者の稲作技術の研修や勉強会を開催し、技術の高度化、共有化を図ると共に、引き続き意見の交換を続けながらプロジェクトに取り組む。

主 な 事 業	○令和6年4月の建築基準法の改正に伴う、新庁舎・新図書館建設事業の一部設計の見直し等……………	1165万円
	○所得税、住民税の定額減税実施に伴い低額減税と一体的に措置される給付金等……………	2372万円
	○小規模農地を対象とした有害鳥獣対策としての電気柵整備補助金等……………	284万円
	○溪流温泉冠荘の空調修繕等……………	1385万円
	○通称藪田山の法面工事……………	2830万円
	○海洋センターのトイレの洋式化工事……………	197万円

千円以下切捨

6月定例会

(令和6年6月11日～14日開催)

6月定例会が6月11日から14日の4日間にわたり開催され、専決処分を含めた条例改正4件、一般会計および特別会計補正予算5件、工事請負及び物品購入契約に関する議案2件、過疎地域計画変更議案1件、人事案件8件、計20議案が上程され、全議案可決されました。

議案第28号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号 池田町町税条例の一部を改正する条例) …地方税法等の一部改正に伴う、R6年度分の個人町民税に係る特別税額控除や、再生可能エネルギー発電施設に係る課税標準の特例措置の追加等を内容とする条例改正
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号 池田町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例) …過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に関連する省令の一部改正に伴い、制度の適用期間を3年間延長する条例改正
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号 池田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) …地方税法施行令等の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額の引き上げ及び、低所得者層の保険税軽減拡大を内容とする条例改正
議案第31号	令和6年度 池田町一般会計補正予算(第1号) …1億1843万8千円を追加し、予算の総額を40億7143万8千円とする
議案第32号	令和6年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) …188万7千円を追加し、予算の総額を3億6688万7千円とする
議案第33号	令和6年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第1号) …人件費の補正で247万9千円を追加し、予算の総額を1億7527万9千円とする
議案第34号	令和6年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第1号) …人件費の補正で38万5千円を追加し、予算の総額を4億2748万5千円とする
議案第35号	池田町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について …職員の職名の変更(主幹を改め課長代理心得)を行うための改正
議案第36号	池田町過疎地域持続的発展計画の変更について …計画に新たな取組み(特定地域づくり事業協同組合、ほっとプラザ駐車場整備)の追加変更
議案第37号	工事請負契約の締結について(生活基盤施設耐震化等交付金事業 中地区浄水場ろ過設備更新工事機械電気設備工事) …設備更新のための工事契約(税込:2億5960万円)を(株)柿本商会 福井支店と締結
議案第38号	物品購入契約の締結について(R6年度社会資本整備総合交付金事業 池田町道路除雪車購入) …町道除雪車購入契約「大型タイヤドーザー1台」(税込:2079万円)をコマツサービスエース(株)と締結
議案第39号	令和6年度 池田町一般会計補正予算(第2号) …池田町農業公社、いけだ農村観光公社の車両購入に331万円を追加し、予算の総額を40億7447万8千円とする
議案第40号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて (松ヶ谷:中村 敏秀)
議案第41～46号	池田町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて (月ヶ瀬:梅田 治安)(魚見:大藤 一禎)(清水谷:角田 義幸) (水海:清水 芳明)(上荒谷:森 則雄)(寺谷:山本 登)
議案第47号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて(越前市:平井 浩一)

総務厚生常任委員会審議

委員長 丸石純一
副委員長 清水龍司
委員 岡村 祐 富田重弘
松井靖明 宇野邦弘

涼んでってドア事業

清水議員 住民に警戒情報
の周知をする方法と、熱中症特別警戒アラートの発表の条件について教えてください。
ただきたい。

保健福祉課長 発表の基準として、県内全9地点で暑さ指数というのがある。この暑さ指数とは、気温と湿度、日差しの強さなどを取り入れた指標である。
この指数が全観測地点で35以上になると予想された場合に環境大臣から発表する。1日前に発表されるため、防災無線やパトロールにより周知する。また学校へは教育委員会を通じて、連絡を行う。

清水議員 これまでに暑

■熱中症特別警戒アラート関係の基準表

名称	熱中症警戒アラート	熱中症特別警戒アラート
発表基準	暑さ指数が、県内9箇所の観測所いずれかで暑さ指数が33以上が予測される場合	暑さ指数が、県内の9箇所の観測所全てで、暑さ指数が35以上が予測される場合
発表時間	前日午後5時ごろ 当日午前5時ごろ	前日午後2時ごろ

※県内の9箇所の観測所(三国・越廼・福井・勝山・大野・今庄・敦賀・美浜・小浜)

さ指数が35以上になったことはあるのか。

保健福祉課長 これまで発表されたことはない。去年も相当暑かったが、県内9地点すべてが35にはならなかった。熱中症警戒ア

ラートは指数が1地点でも33を超えた場合発表される。
宇野邦弘議員 熱中症特別警戒アラートが発表されるとどうなるのか。

副町長 命に係わるほどの災害級の暑さの為、行事もすべて中止し、農作業なども辞めて頂き、家の中でエアコンをつけて外出を控えて下さいとなる。

丸石議員 クーリングシェア館の活用ができないのか。

保健福祉課長 町がクーリングシェアセンターとして指定すれば可能だが、今回の涼んでってドア事業は町民



▲町内の「涼んでってドア」協力店舗や事業所でのマーク

だけでなく観光に訪れた方も対象としており、常に一定の涼しさを維持し、開放可能な事業者にお願いしたい。

クラウドシステムについて

岡村議員 デジタル政策費について回線利用料は、丹南広域組合のクラウドを使う負担金ではなく、別途回線を利用するのか。

総務財政課長 システム標準化をすすめるうえで、国が指定するガバメントクラウドに各自自治体ごとで契約することになる。共同利用回線もあるが、ガバメントクラウドに接続するにあたり、個別に回線の利用料を払うが、契約元は丹南広域組合となっている。

過疎地域 持続的発展計画

宇野邦弘議員 池田分校の建物や跡地はどのように

活用するのか？

総務財政課長 農業公社や特定地域作り事業協同組合での事務所として活用を計画している。

特定地域づくり事業協同組合とは、人材派遣のよいうな仕組みで、農業、林業、観光業などでの年間を通して仕事を作っていく組織である。

宇野邦弘議員 働きにくる人が宿泊できるように改修を考えていくのか。

総務財政課長 国の支援も有効に活用しながら考えていく。

清水議員 特定地域づくり事業協同組合設立について参考にした地域はあるか。

総務財政課長 福井県内については取り組みがなく参考にできた場所はない。石川県や富山県が先進的に実践されている。現在まだ情報を集めている状況である。

文教経済常任委員会審議

委員長 松井靖明
副委員長 富田重弘
委員 清水龍司 岡村 祐
宇野一正 佐野和彦

繰越明許費

佐野議員 3月議会にて承認した繰越明許費について、除雪基地にかかる事業が、令和6年12月末までが期間が長いのではないかと。もし他の事業も含めて余裕を見て行うようなことが常態化しているようであれば問題ではないか。

町土整備課長 除雪基地については、物価変動による再設計に時間がかかっている。
副町長 繰り越した事業について、速やかに遂行し完了するよう各課長に指導する。

義務教育学校 検討委員会

清水議員 検討会設置に

ついて町民に対して内容等の説明を行うのか。それとも検討会で決定した際に知らせるのか。

教育長 検討会において町民への説明が必要だという意見が出たタイミングで説明会を考えていきたい。

松井議員 検討委員会は文科省からの方針で取り組んでいるのか。それとも町単独で取り組もうとしているのか。

教育長 全国的に少子化で学校再編の流れがあるが、文科省の指示等ではなく、池田町独自に今後の学校運営を考える上でメリット・デメリットを検討していきたい。

佐野議員 義務教育学校で9年間一貫してすることが、子供たちの健全育成にどのようなつながるのか。
教育長 小中学校を一緒にすることで教員も1つの

組織になる。中学校は生徒数が減っても複式学級がないので教員は割と余裕がある。教員不足を補えることで、学校にとって一番良いカリキュラムを組むことができる。また、小学5・6年生が中学校の部活動に参加することもできる。

町土整備課関連

宇野一正議員 市から板垣トンネルまでの新設道路についての進捗はどうか。

町土整備課長 測量は終わっており、今年度用地の買収に入る予定をしている。

宇野一正議員 稲荷月ヶ瀬線の拡張工事場所の除雪基地の進捗はどうか。

町土整備課長 除雪基地格納庫の建築設計を発注したところである。

松井議員 庁舎建設について、物価高騰や建築構造の関連で当初の計画から都度見直しされているが、職員の業務に支障はないのか。
町土整備課長 今回面積を見直したのは、エントラ

ンス入り口部分で200㎡ほどサイズダウンとなる。物置の場所を減らす対応なので業務の支障はない。

農村政策課関連

宇野一正議員 フォーシージンテラスのスタッフ駐車場の用地は、借地でなく購入はできないのか。

農村政策課長 今購入を前提で話を進めている。

富田議員 20台ほど駐車出来るスタッフ駐車場を臨時のお客様駐車場でも使用することだがスタッフで使用する台数は何台くらいか。

農村政策課長 スタッフの車は6〜7台。

宇野一正議員 有害捕獲用の畠について池田町としては設置場所を把握しているのか。

農村政策課長 ぐくり畠の設置場所までは把握していない。

清水議員 小規模園芸農業支援事業(有害鳥獣対策としての電柵等購入補助)

の上限額は決定しているか。
農村政策課長 一件につき35万円で一回の上限とする。

松井議員 冠荘について、修繕は必要だと思いが将来的に移転など計画は検討するのか。

副町長 冠荘の今後について検討はしていないといけませんが、現段階では新庁舎建設等も重なるので厳しい状況である。

富田議員 部子山登山道(牧場管理道)を車両通行止めにしたのはなぜか。

農村政策課長 近年バイクを牧場内に乗り入れたりラジコン飛行機をしたり環境を乱すような行為が見られるほか、車両転落事故等も発生しているため頂上から4・6キロ手前までを通行止めにした。



▲部小山終点山頂手前4.6kmの車両通行止め地点(牧場管理道)



松井 靖明 議員

脱炭素
先行地域について

問 池田町が取り組んでいる「脱炭素先行地域」への申請状況、及び、その内容と課題について伺う。

現在、新庁舎建設に伴い、木望の森100年プロジェクトにおけるバイオマス熱エネルギーの活用計画からの更なる展開を目指し、脱炭素先行地域づくりへの申請に取り組みしていると聞いています。

これまで池田町では生ゴミを活かした有機農業への取り組みや、今年4月には町内初となる民間小水力発電事業もスタートしている。

このように町民とともに、町の資源や素材を環

境向上、脱炭素地域づくりに取り組むことは、池田町の品格を高め、それを誇りと感じる大切な取り組みであり、町が取り組んでいる、脱炭素先行地域採択に向けての状況や内容、課題について伺う。

答 副町長

脱炭素先行地域づくりについては、2020年当時の政府が2050年に国内のカーボンニュートラル宣言を行ったことを踏まえ、脱炭素をけん引する先行地域(100地域を設定)の取り組みを参考に、脱炭素の取り組みを展開しようとするものである。

認定を受けた地区は、2013年における電力由来の二酸化炭素排出量を2030年において実質ゼロにするため、地域内の全消費電力を、当該地域で生産された再生可能エネルギーに変える内容である。

このため国は計画実行に伴う施設整備等に3/4の補助を行うなどの支援を用意しており、池田町は今回これに応募しようと考えている。

具体的には、役場新庁舎の高い断熱性能の確保や木質バイオマスエネルギー供給システム、さらには小水力発電や太陽光パネルなどの施設の整備を進めることで化石燃料利用の抑制、森林資源の更なる利用を進めるとともに、環境のまちづくりを進めてきた池田町の誇りの磨き上げに繋がってきたい。

課題1「再生可能エネルギーの開発」

町内での小水力発電と、

太陽光を検討。

小水力発電では、建設場所に足羽川の支流域にある堰堤の落差を利用した発電を念頭に、事業の可能性について調査を行っている。

また、事業運営については小水力開発の実績があり、他地域の脱炭素先行地域に採択されている企業とともに進めたいと考えている。

太陽光については「あそびハウス」ごとと森で先行的に設置したことを踏まえ、融雪機能付きの太陽光パネルの整備を推進する計画である。

屋根以外のパネル設置場所においては、耕作放棄地や遊休土地の調査を

進めている。

課題2「再生可能エネルギーの利用への理解を深める」

北陸電力に小水力由来の再生電力プランの造成を依頼、また太陽光の再生プランについては愛媛県の会社に依頼し、2つのプランから消費者が選択できるようにし、その場合の電気料金は現状の価格と同等になるように検討を進めている。

課題3「地域森林資源を最大活用するための燃料利用の仕組づくり」

木質バイオマスの活用についてプロポーサル方式で調整しており、6月末に実施設計の契約相手が決定する予定である。池田町としてはこの取り組みを、役場がある稲荷地区から、観光中心地域である志津原・土合地区までをエリアとして設定し、環境の町としてのブランド向上化、また観光客を池田町が選ぶ、町づ

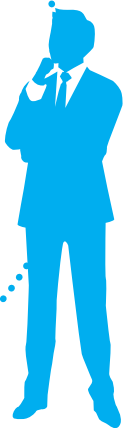
くりを狙っている。

今後、オーバートーリズムにもなりがちな観光産業では、不法投棄やゴミの問題など、観光消費の負の側面への対応として、脱炭素、環境の立場から住民の意識や行動変化とともに、訪れる人にも「地域の環境を守っていく」という認識につなげる必要がある。

こういった観点から脱炭素関連の事業主体の受け皿として、観光まちづくり会社である「まちUPいけだの子会社」に、「(仮称)まちUPエナジー」を設立し、小水力発電所の維持、バイオマス熱供給施設の管理などを総合的に行うことで、環境ビジネスを生み出さなければと考えている。

まずは国へのプレゼンテーションで町民ぐるみの環境行動実績など町の強みをアピールして参りたいと考えている。

般
しつもん
問



集落単位の 獣害対策を提案

【問】1集落から3集落単位で獣害防止柵設置の提案と道のオアシスを含めた町全体の獣害対策をどのように行なっていくのか2つ質問をする。

【答】今回の議案でも電柵に対する補助が提案されたが、その必要性和重要性は益々高まると感じている。農林水産省のデータによれば、令和4年度、福井県の被害総額は約9600万円で、被害面積は119ヘクタールに上り、約96%が鹿と猪によるもの。しかし、申告されていない家庭菜園レベルの被害は含まれていない。実際はもっと高い割合となる。



清水 龍司 議員

今年4月にオープンした道のオアシス・フォーシーズンテラスの芝生広場(グリーンパーク)も、この申告されていない獣被害地の一つになると懸念している。鹿に芝を食べられ、糞をされ、更に猪やモグラによる掘り起こし被害も考えられる。これにより職員労働と修繕費の増加、利用者への不快感によるイメージダウンに繋がるのではないかと想像できる。

また、鹿の餌場として定着すると、交通量が増えた冠山峠道路は夜間鹿の飛び出しリスクが高まる。町としてどのような対策をしていくのか。

町が行なっている獣害対策支援として、檻の貸し出しや電気柵購入の補助などがあるが、畑はできるが高齢で電気柵設置等の対策が難しい方もいる。今後増えることも考えられる。

町民からの要望があり、集落同士の話し合いがまとまれば検討することは可能か。

町が複数集落横断型の常設で丈夫な獣害防止柵の設置をすることでそれらを補うことを提案する。

町民からの要望があり、集落同士の話し合いがまとまれば検討することは可能か。

町が複数集落横断型の常設で丈夫な獣害防止柵の設置をすることでそれらを補うことを提案する。

町民からの要望があり、集落同士の話し合いがまとまれば検討することは可能か。



いっぱん

質

【答】農村政策課長

広域な獣害対策を町として行なわないのかとの質問で、有害獣の侵入防止対策や管理は、集落で検討いただきたい。

町がフェンスなどを設置する広域的獣害対策を行なう予定はないが、補助事業は2つある。

1つ目は、県の補助で「鳥獣害のない里づくり推進事業」も活用し、集落単位または地域で電気柵などを設置する場合に経費の1/2〜2/3を補助するもの。7月に行なわれる区長会研修会で要望調査を行っている。

2つ目は、今回の補正予算で提案した「小規模園芸農業支援事業」で、出荷を目的とする小規模

な畑に電気柵を設置する経費の2/3を補助する事業で、申請窓口は農業公社。

これらで有害獣の侵入防止を図っていただきたい。

道のオアシス芝生エリアの獣害対策については、今のところ被害はなく、侵入防止柵を設置する対応はない。

【問】小規模園芸農業支援事業は、条件がある程度必要で101匠の会の入会や出荷が条件。出荷はできる規模じゃない、初め

たばかりで自信がない方にとって難しい補助になる。

今回、集落をまたいで対策を提案させていただきます。いただいたのは、将来電気柵の手間や費用、人口減少を考えた時に有効

だと考えたから。芝生エリアは「今は入られていない」はその通りだと思うが、入られた後だと遅い。

町の景観を損ねない、予算を掛けない風で動く力カシなどで対策も考えていかないといけないと思う。

【答】農村政策課長
今後の参考とさせていただきます。対策物を設置する場合はやはり地元で話し合いが必要。



▲道のオアシス芝生エリア



丸石 純一 議員

道のオアシス

問 道のオアシスにある観光案内所の窓口の稼働状況はどうなっているか。

答 農村政策課長

事務所を観光案内所窓口カウンターとして、運用する予定はなく、センターハウス全体が観光案内所と考えている。店舗スタッフと、お客様との対話を通じて、観光案内所の機能も果たしていきたい。

問 道のオアシスの芝エリアは乗用型の機械すべて刈取が可能なのか？

答 農村政策課長

平らな場所では乗用芝刈り機を、斜面については刈払機で、刈取りを行う。

施設管理担当職員1名が、火曜日と金曜日の週2回、草刈りなどを行うほか、火曜日には、役場からの応援スタッフ1名を入れて、公園エリアの管理を行っており、管理計画の範囲内で実施ができています。

問 道のオアシスは福井県の窓口として、観光のハブになる場所を目指していくと捉えているが、現状をどう捉えているか？

答 農村政策課長

道のオアシスが担うハブ機能とは、町内外の各施設への効果波及と、町民と来訪者との交流を通じた、地域の活性化と捉える。町内の観光施設や、商店への繋ぎ役となるよう、その役割を果たすことが求められるが、この点については、週末を中心に多くのお客様が、道のオアシスに立ち寄られていることから、町内一帯に、その効果の波及は出ていると認識している。引き続き、道のオアシスを目的地に来られた

方には、スタッフの接客業務を通じて、町内観光施設や、商店への誘導を行っていくとともに、町内事業者の皆さまには、今後も、店舗への出品や、エントランス広場での出店を通じ、来訪者との交流、池田町の魅力発信にご協力いただきたい。

また今年度は、池田町商工会のご要望を受け、補助金を増額して、町内事業者の、クラウンロード開通による、交流人口増の受け皿となる取組みを支援した。新たな取組への、来訪者の誘導も行っていききたいと考える。

問 道のオアシスは人手不足となっていると思うが、観光案内所に、目的がなく福井県へ訪れた方へ向けた、タッチパネル

式の観光案内の機械の導入を検討したほうが良いと考えるがいかが？ または観光のハブになるために取り組んでいることがあれば伺いたい。

答 農村政策課長

駐車場に、嶺北エリア一帯の観光マップ看板を設置したり、事務所沿いの通路に、町内観光情報のほか、スペースが許す限り、町外の観光パン

ふるさと納税

問 前年度の池田町のふるさと納税の受入れ額と受入れ件数について伺う。

答 総務財政課長

令和5年度のふるさと納税受入件数は15件、受

入金額は88万5千円。

問 議案に返礼品付きふるさと納税を始めるための手数料が予算計上されているが、なぜこのタイミングで始めることにしたのか。

答 総務財政課長

都立芝商業高等学校と交流事業を行っており、交流事業は年々進展してし、その活動に係る経費の原資として、学校関係者、保護者、卒業生から

危険家屋

問 町として、危険家屋に対して行政指導などを行っているか伺う。または行政指導すべき家屋の存在の有無について伺う。

答 総務財政課長

行政指導は行っていないが、各集落区長と協力しながら、空き家調査を実施している。老朽化が進み、危険性のある空き家等も確認している。現在、25集落の調査を終えた。

般

しつもん

問



冠トンネルや道のオアシス開業による交通安全対策について

問 冠山トンネル開通や道のオアシス開業による交通量急増による事故も起きている。道のオアシスへの駐車場入り口も狭く、岐阜側からは分かりにくい。お祭り広場の複雑な交差点も危ない。何らかの対応策が必要ではないか。

答 総務財政課長

市の道路改良工事、お祭り広場から月ヶ瀬の拡幅計画等を進めている。信号機設置など安全策について今後の交通事情も踏まえ関係機関と協議はしていきたい。

答 農村政策課長

道のオアシスの駐車場の出入り口の幅については、法令で定められている最大幅があるので、ハイド面の対応はないが、アイシーズンには、誘導員配置、駐車場の出入口の一方通行化や臨時駐車場への誘導等に努めていく。



▲土日には混雑する道のオアシス入口

文化交流会館の解体工事での死傷事故の影響・対応は

問 能楽の里会館の解体工事での重大事故を受け、元受け下請け業者や死傷者への町としての対応はどうなっているのか。事故による解体工

事・役場新庁舎建設の遅れはないのか。

答 町土整備課長 事故後、請負業者が「事故再発防止策」を作成し、作業員への「労働衛生特別教育」や「事故再発防止周知会」を実施し、武生労働基準監督署に「再発防止対策報告書」を提出、受理された。これを受け、町としては「事故再発防止策」の徹底を条件に、

5月13日から再開許可の通知をした。今後請負業者に対する労基署の処分等を踏まえ、指名停止等の措置を検討する。解体工事は当初計画通りの11月末終了予定。役場新庁舎完成については、建築基準法改正による設計変更が余儀なくされたことから、当初より1年延び令和9年夏頃になる。

地方自治法改定について町長の見解は

問 今回の改定案では、「国民の安全に重大な影響を及ぼす事態」と政府が判断すれば地方自治体に「指示権」を発動するとしている。各地の首長

や議会からも危惧の声が出されており、滋賀県甲良町議会の意見書でも、「日本国憲法は、戦前の中央集権的な体制のもとで自治体が侵略戦争遂行

の一翼を担わされたことへの反省から、独立の章を設けて、自立した地方自治体と住民の政治参加の権利を保障したはず」と指摘し廃案にするよう求めているように、地方自治を明記した憲法や、国と地方は対等だと位置づけた地方分権一括法を踏みにじるものであり、容認できないが町長の見解は。

答 町長 背景には、コロナ対応など、想定外の事態に万全を期すとの地方制度調査会の答申がある。改良の必要性は理解するが、個別法でなく地方自治法の改正で対応することは、憲法で保障された地方自治の本旨や地方分権改革による国と地方の対等な関係が損なわれるのではないかと不安を感じる。安易に指示が行使されないよう適切な規程が設けられるよう求めたい。

町長選まで半年進退を問う

問 7期28年の長きにわたって同じ職に長年居続けていることで、様々な弊害も生まれているのではない。職場環境も、自由にモノが言え創意工夫が発揮できるにはなっていない。引き際が大事だが、次期町長選での進退は。

答 町長 厳しい指摘をうけたが、元より私は完全な人間でも、完璧な仕事ができる人物でもない。支援くださる町民、日々献身的に課題に立ち向かう町職員と共に、現在取り組んでいる事業に誠実果敢に取り組むことが今の私の最大の責務職責と考えている。

で自治体が侵略戦争遂行

の一翼を担わされたことへの反省から、独立の章を設けて、自立した地方自治体と住民の政治参加の権利を保障したはず」と指摘し廃案にするよう求めているように、地方自治を明記した憲法や、国と地方は対等だと位置づけた地方分権一括法を踏みにじるものであり、容認できないが町長の見解は。

の一翼を担わされたことへの反省から、独立の章を設けて、自立した地方自治体と住民の政治参加の権利を保障したはず」と指摘し廃案にするよう求めているように、地方自治を明記した憲法や、国と地方は対等だと位置づけた地方分権一括法を踏みにじるものであり、容認できないが町長の見解は。

足羽川ダム特別委員会

県が進める道路整備について

冠山トンネルの開通によって交通量が急激に増え、町内の道路環境整備が急がれます。町長の所信表明では、交通量は30～50倍も増えたと報告がありましたが、あらためて、現在計画中の整備路線について、ダム対策特別委員会で、県土木部から、県が行う池田町地域振興策の道路整備についての報告があったので紹介します。

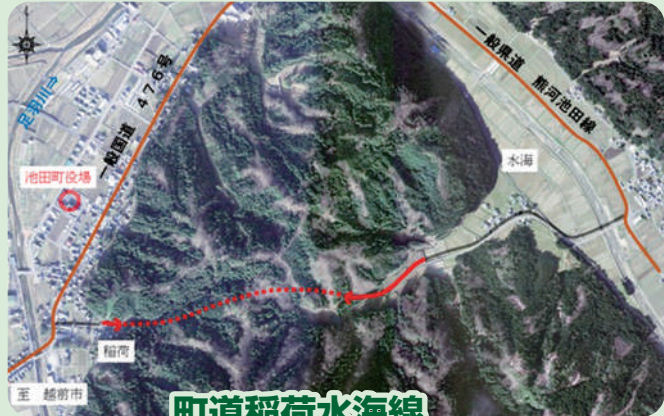


国道476号 松ヶ谷 道路改良

令和6～10年度計画

測量・土質調査・予備設計関連で

今年度予算2千万円



町道稲荷水海線

令和6年～

土質調査・測量・用地費・予備設計などに
令和6年度予算2億円

町道だが、県が代行して事業を行う



国道417号 市～板垣 道路改良

令和5～9年度計画

今年度、用地・物件補償予算3千万円

脱炭素プロジェクトについて

町が現在計画案を作成中の「100年先も安心して暮らしてつづける池田町を育てるための『脱炭素プロジェクト』について」の原案について、6月14日、24日の両日全員協議会を開催し、副町長らから説明を受け意見交換を行いました。



6月14日の全員協議会



編集後記

県町村会議長会主催による議会広報作成についての研修会が福井県自治会館で6月24日に行われ、広報委員全員が参加してきました。見出しの立て方、写真やレイアウトの基本、どうしたら町民に読んでもらえるのかなど全国各地の議会だよりの例を示していただき、いろいろ参考になりました。なかなかすぐには活かしきれませんが、今後の編集やレイアウト、町民登場企画などに活かせたらと思います。皆さんのご意見をお寄せください。

(宇野邦弘)

議会広報特別委員会

議長	委員	委員	委員	副委員長	委員長
宇野 一正	丸石 純一	富田 重弘	岡村 祐	清水 龍司	宇野 邦弘